

プロフィール

学芸員 [歴史担当係長]

日比野 利信 Hibino Toshinobu

ひびの としのぶ

担当分野

近現代史

略歴

九州大学文学部卒業

同 大学大学院文学研究科修士課程修了

同 大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学

九州大学文学修士

太宰府市役所総務部企画課市史編さん室を経て現職（2002年度～）

平和資料館担当係長兼務（2017年度～）

研究内容

「地域にとって近代とは何か」「地域の近現代史はどのように考えればよいか」という観点から、福岡県（北九州市を含む各地）をフィールドとして、近代の地方および都市の政治・行財政、河川の治水と利水をめぐる問題、地域の歴史意識やアイデンティティ形成について研究しています。その際、近世から近代への変化や連続の問題と、地域の諸関係の歴史を重視して研究に取り組んでいます。

展示実績

【特別展】

- 「Come Back! よみがえれ 文化と生きものたち」（共同） 2003年
- 「博多祇園山笠一まつりにみる福岡の歴史―」（共同） 2004年
- 「大名細川家一文と武の軌跡―」（副担当） 2005年
- 「アイヌ文様の美 線のいのち、息づくかたち」（共同） 2006年
- 「修験の歴史と自然 西日本の山の信仰」（副担当） 2007年
- 「美しき九州の旅―「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行―」 2008年

- 「小倉のお殿さま—小笠原家と城下町—」（副担当） 2009年
- 「布のこころ—受け継がれる母の想いとくらしの美—」（副担当） 2010年
- 「大連・モダンの風景—旅順博物館所蔵大連古写真展—」 2011年
- 「北九州市制 50 周年記念 北九州市の宝もの」（共同） 2013年
- 「仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展」（共同） 2013～2014年
- 「大正・昭和の暮らしと風景」 2016年
- 「関門幕末維新伝」 2016年

【企画展】

- 「関門海峡と門司検疫所—STOP！感染症—」 2003年
- 「近代の貨幣—難波江初治コレクション—」 2004年
- 「北九州のパノラマ地図—初公開・吉田初三郎の鳥瞰図原画—」 2004年
- 「片山正信氏の版画に見る 昭和の北九州百景」 2004年
- 「花鳥図—今年は酉年—」（共同） 2005年
- 「日本の貨幣—難波江初治コレクション—」（共同） 2005年、2007年
- 「女の彩り—髪を飾る・身を装う—」 2005年6月4日～10月3日
- 「遠賀川の川船模型」 2005年
- 「満洲・日中戦争前夜—片山正信氏の版画作品から—」 2005年
- 「男の粹—小物に凝る—」 2006年
- 「鐔—金工の華—」 2006年
- 「武家の装い」（共同） 2007年
- 「襤褸 布がかたる戦争」（共同） 2007年
- 「博物館の軌跡 1975～2002」（共同） 2007年
- 「夏の涼」 2008年
- 「ガリ版印刷への誘い 北九州技の達人岡部和慶とその作品」 2009年
- 「大連今昔の旅」（北九州市・大連市友好都市締結 30 周年記念展） 2009～2010年
- 「前田勇コレクション～匠の技～」（共同） 2010年
- 「一兵士の日中戦争」 2010年
- 「東北の布」（共同） 2010～2011年
- 「江戸時代の庶民の旅」（共同） 2011年
- 「近代産業界の雄 安川家秘蔵のコレクション」（共同） 2011年
- 「山本作兵衛の炭鉦記録画と近代の石炭業」 1 2011～2012年
- 「山本作兵衛の炭鉦記録画と近代の石炭業」 2 2012年
- 「大正の子どもたち～片山正信版画『大正走馬燈』の世界～」（共同） 2012年
- 「山本作兵衛の炭鉦記録画と近代の石炭業」 3 2012年
- 「むかしに学ぶエコスタイル」（共同） 2012年

- 「大正の物売る人びと」（共同） 2012年
- 「滄桑巨変 大連都市発展写真展」（共同） 2012年
- 「版画家片山正信がえがく「若松百景」 2014年
- 「「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録応援展 炭鉱の記録と記憶」 2015年
- 「「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録記念展 世界遺産のまち 北九州と明治日本の産業革命」 2015～2016年
- 「博物館でふしぎの歴史発見」（共同） 2016年
- 「ユネスコ無形文化遺産登録記念展「戸畑祇園大山笠」 2016年・2017年
- 「旧八幡市制百年 鉄の都・街道のまち 八幡」 2017年
- 「博物館 DE 古画鑑賞—人物画と花鳥画—」（共同） 2017年
- 「明治150年記念 書に見る明治の群像」 2018年

【テーマ展示】

- 「辛亥革命百年 安川・松本家と孫文」 2011年
- 「北九州の空襲」 2013～2014年
- 「地図と写真に見る若松百年」 2014年

研究業績

【著書・論文】

(研究書・学会誌)

- 「長崎県における勸業政策の展開と博覧会—明治一二年の長崎博覧会をめぐって—」
中村質編『開国と近代化』吉川弘文館、1997年
- 「明治前期治水費負担問題の成立過程—福岡県を中心として—」
『九州史学』117、1997年
- 「福岡県における治水費負担問題の展開」
『福岡県地域史研究』16、1998年
- 「江戸後期の久留米藩政と大庄屋」
『九州史学』137・138 合併号、2003年
- 「維新の記憶—福岡藩を中心として—」
明治維新史学会編『明治維新と歴史意識』明治維新史学会、2005年
- 「博物館の現在と未来—指定管理者制度をめぐって—」
『九州史学』148、2007年

- 「日清・日露戦間期の安川敬一郎」
有馬学編『近代日本の企業家と政治』吉川弘文館、2009年
- 『寺内正毅と帝国日本 桜園寺内文庫が語る新たな歴史像』（伊藤幸司氏・永島広紀氏と共編著、勉誠出版）2015年

【博物館刊行物】

(研究報告)

- 「小倉藩と福岡藩の明治維新観」(1)
『北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類歴史』第1号、2004年
- 「旧門司市役所・旧松ヶ江村役場・馬寄区有文書—北九州旧5市行政資料の紹介(1)—」
『北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類歴史』第2号、2005年
- 「北九州市におけるアイヌ工芸品展の開催」
『北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B類歴史』第4号、2007年

(資料集)

- 『安川敬一郎日記』第1巻（北九州市立自然史・歴史博物館）2007年
校訂・解題「日清・日露戦間期の安川敬一郎」執筆
- 『安川敬一郎日記』第2巻（北九州市立自然史・歴史博物館）2009年
校訂・解題「日露戦争前後の安川敬一郎」執筆
- 『安川敬一郎日記』第3巻（北九州市立自然史・歴史博物館）2011年
校訂・解題「大正時代の安川敬一郎（上）」執筆
- 『安川敬一郎日記』第4巻（北九州市立自然史・歴史博物館）2012年
校訂・解題「大正時代の安川敬一郎（下）」執筆
- 「布は何を語るのか—堀切辰一コレクション「襤褸」の可能性—」
北九州市立自然史・歴史博物館編刊『堀切辰一コレクション時代布目録「襤褸」』続編
第三巻解題、2015年

(展覧会図録・編著)

- 『大連・モダンの風景』（北九州市立自然史・歴史博物館）2011年（全執筆）
- 『北九州市の宝もの』（北九州市立自然史・歴史博物館）2013年（分担執筆）
- 『北九州・工業都市の風景』（北九州市立自然史・歴史博物館）2013年（全執筆）
- 『仁川広域市立博物館・旅順博物館の名品展』（北九州市立自然史・歴史博物館）2013年（構成・編集・分担執筆）

(展覧会図録・寄稿)

- 「北九州に残る細川家の足跡」
特別展図録『大名細川家 文と武の軌跡』北九州市立自然史・歴史博物館、八代市立博物館、2005年
- 「アイヌ文化と九州」
平成18年度アイヌ工芸品展図録『アイヌ文様の美 線のいのち、息づくかたち』財団法人アイヌ文化研究・推進機構、2006年
- 「「モダン」の都市と観光と吉田初三郎」
特別展図録『美しき九州の旅―「大正広重」初三郎がえがくモダン紀行―』北九州市立自然史・歴史博物館、2008年
- 「布と女性と近代社会」
特別展図録『布のこころ―受け継がれる母の想いとくらしの美』北九州市立自然史・歴史博物館、2010年

【自治体史】

※自治体史はそれぞれの編集委員会名の編集で、編集責任者として編集・校訂・執筆などを担当している。

(編著)

- 『「古都太宰府」の展開』（『太宰府市史』通史編別編）（有馬学氏と共編）2004年
「太宰府博覧会と菅公一千年祭」
「江島茂逸と『維新起原太宰府記念編』」
「筑紫史談会の成立と活動」を執筆
- 『柳川市史』史料編Ⅵ 山門郡行政 上（有馬学氏・江島香氏と共編）2009年
- 『柳川市史』史料編Ⅶ 山門郡行政 下（有馬学氏・江島香氏と共編・校訂）2010年
解題「明治期山門郡の土木行政」執筆
- 『福岡市史』資料編近現代1 維新見聞記（山口輝臣氏と共編・校訂）2012年
解題「『維新雑誌』に見る福岡の明治維新」
- 『福岡城 築城から現代まで』（『福岡市史』特別編）（柴多一雄氏・中野等氏と共編）2013年
「近代の福岡城」「現代の福岡城」を執筆
- 『福岡市史』資料編近現代2 近代都市福岡の始動（遠城明雄氏と共編・校訂）2015年

(分担執筆)

- 「近代化政策と筑後川の治水」
『ムラとムラびと』下、田主丸町誌第三巻、田主丸町、1997年
- 「佐々木正蔵「備忘録」校訂・解題」
『小郡市史』第五巻資料編中世・近世・近代、小郡市、1999年
- 「矢部川絵図の作成と伝来」
『地図のなかの柳川』柳川市史地図編、柳川市、1999年
- 「小郡市五ヶ村の成立」
『小郡市史』通史編第二巻中世・近世・近代、2003年
- 「自由民権運動と地方政治」(江島香氏と分担執筆)
『小郡市史』通史編第二巻中世・近世・近代、2003年
- 「行政区画の変遷と行財政の展開」「地租改正」「町村合併と太宰府町・水城村の成立」
「産業・交通の発達と地域の変化」「高度成長と町政の展開」「開発の矛盾と行政の対応」
「市制施行から現在へ」を執筆 (一部宗建郎氏と分担)
以上『太宰府市史』通史編第三巻近現代、2004年
- 「沿革」(宗建郎氏と共同執筆)
『太宰府市史』通史編第一巻第一編第一章第二節、2005年
- 「文化資源」
『新編北九州市史』文化・教育編第3章、2018年

【報告書】

- 「近世～近代における筑後川の治水と利水」
『平成八～十二年度 筑後川流域利水関係史料調査』福岡県古文書等調査報告書第十五集、福岡県立図書館、2001年
- 「久留米藩の大庄屋と「御用談」記録」
『寛政三年～文政五年 久留米藩大庄屋会議録』九州文化史研究所史料集5、九州文化史研究所史料集刊行会、2001年
- 「文政期の久留米藩政と大庄屋」
『文政六年～文政十三年 久留米藩大庄屋会議録』九州文化史研究所史料集5、九州文化史研究所史料集刊行会、2002年
- 「神社・神職の制度化と神楽の再編成—京築地域を中心として—」
『平成十三～十七年度 京築地区神楽関係史料調査』福岡県古文書等調査報告書第十八集、福岡県立図書館、2006年

- 「日清・日露戦間期の安川敬一郎」
平成 17～18 年度科学研究費（基盤研究（B）代表者有馬学）研究成果報告書『地方都市の都市化と工業化に関する政治史的・行財政史的研究』2007 年
- 「地方企業家の旅—安川敬一郎の時空間—」
平成 24～26 年度科学研究費（基盤研究（C）代表者日比野利信）研究成果報告書『近代日本における企業家の社会史—政治・経済・文化—』2015 年
- 「近現代の遠賀堀川」
水巻町教育委員会『堀川文化財総合調査報告：福岡県北九州市・中間市・遠賀郡水巻町所在堀川の調査』2017 年

【その他】

- 「二日市と太宰府の 100 年」
『郷土の 100 年展』ふるさと館ちくしの、2002 年
- 「江島茂逸と『維新起原太宰府紀念編』」（上）（中）（下ノ壺）（下ノ弍）
『都府楼』29～32、2000～2001 年
- 「「医師は仁術専之儀」なれど—江戸後期福岡藩の在村医—」
『県史だより』120、福岡県地域史研究所、2005 年
- 「女性の地位の変遷」1 近代、2 昭和戦後期
北九州市女性史編纂実行委員会・アジア女性交流・研究フォーラム編著『おんなの軌跡・北九州』第六章 第一節、ドメス出版、2005 年
- 「士族反乱研究の可能性」
『九州史学』149、2008 年
- 「「産業革命遺産」展示の可能性」
『全科協 NEWS』46-1、全国科学博物館協議会、2016 年
- 「書評 内山一幸『明治期の旧藩主家と社会—華士族と地方の近代化—』」
『九州史学』179、2018 年

2018 年 8 月 10 日